

メッセージ

「第16回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい」が開催されるにあたり、メッセージをお送りいたします。

ヒロシマは、60年前の被爆体験を原点に、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。しかし、世界各地で憎しみと暴力、報復の連鎖が断ち切られないまま、今なお地球上には大量の核兵器が存在し、核兵器が使用される可能性さえ高まっています。また、今年5月に開催された核不拡散条約再検討会議も、核兵器廃絶に向けた成果を出せずに閉幕しました。

このため、広島市は、世界1,155の都市が加盟する平和市長会議を中心に、世界の都市、市民、NGOとともに、2020年までの核兵器廃絶を実現すべく「核兵器廃絶のための緊急行動」を展開しています。その中で、来年の8月9日までを「継承と目覚め、決意の年」と位置付け、世界の多くの国、NGOや市民とともに、世界中の多くの都市で、核兵器廃絶に向けた多様なキャンペーンを展開していきたいと考えています。

こうした中、被爆60周年の今年、名古屋市において、「なくせ核兵器 なくすな9条」をテーマとして「第16回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい」が開催されますことは誠に意義深く、皆様の取組に深く敬意を表します。御参加の皆様が、今後とも、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現のため、私たちとともに、力を尽くし、行動していただくことを心から御期待申し上げます。

最後になりましたが、つどいの御成功と御参加の皆様の今後ますますの御健勝をお祈りいたします。

平成17年（2005年）10月22日

広島市長 秋葉忠利